

第2回 コラム集「こどもと共に育つ」

前号から始まったコラム集「こどもと共に育つ」の第2回目(全4回を予定)です。こどものひろばで活動し、現在、子どもに関わる仕事に就いておられる方にそれぞれコラムを書いてもらっています。小学校教諭、幼稚園教諭、スクールソーシャルワーカー、保育士、カウンセラーという様々な立場の5名の方に、日常の出来事や子どもたちを取り巻く環境などそれぞれの目線でコラムを書いてもらっていますので、ぜひご覧ください。こんなことについて書いて欲しい、コラムを読んで感想なども募集しております。



こんにちは、つだです。前回子どもたちと出会うまでのバタバタ劇を書きましたが、その後なんとか1学期を終えることができました。正直、1日1日を無事終えることに精一杯で振り返れる記憶がありません。笑

今回は「先生の夏休み」について書こうと思います。

「子ども来ないから、暇やろ?」と思われがちですが、7月中は毎日のように研修やら2学期への授業や行事の準備や会議やら、普段手入れが行き届かない教室の清掃・整理整頓やらで気づいたら1日が終わっています。夏休みも変わらず忙しいです。ですが、ゆっくり昼ごはんを食べられること、定時に出勤できることが救いになっています。



とはいえ、8月に入れば研修等も無くなるので、有給を使ってしっかり休んでいます。が、その間も終わらない2学期の準備(やることが多すぎる)。私は今、来たる始業式に向けやり残したことを一生懸命頑張っています。夏休みの宿題に追われる小学生たちと同じ気持ちです。



こんにちは!元 Jr.キャンプのちっちです♪1回目のコラムの時は【なぜ、幼稚園の先生を目指そうかと思ったのか】ということについて書かせて貰いました。自分が通っていた幼稚園の先生が大好きで…というありきたりな理由ではありますが、実際に働き出して子ども達から「先生みたいになりたい!」「先生、大好き!」って言われるだけでも、この職業を選んで良かったなと日々感じています。そして、7年目にもなると、卒園して送り出して自分が年少・年中などで持っていた子が今では3年生(2年目に持っていた子^^)と4年生(1年目に持っていた子^^)に!同窓会の時や「幼稚園の近くを通りかかったから~♪」と顔を見せてくれるとすごく嬉しいですよ(*^_^*)

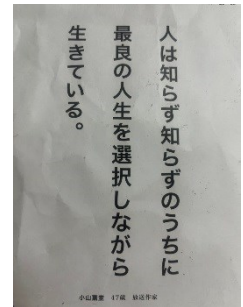
今は4歳児の担任をしています。(3回目です!)子ども達は元気ハツラツで何事も全力で楽しんだり、遊びや活動ではお友達と力を合わせて取り組む事が増えたりととっても可愛い子ども達です♪しっぽ取りが大好きで、3クラス対抗で対決をして遊ぶのですが女の子チームはほとんどと言っていい程、毎回勝ってて、男の子は毎回負けて…いつも悔しそうに「また、負けたあ~悔しい…」「どうしたら勝てるのかな」と言っている子や「女の子チームが勝ったからいいやん☆」と言う子もいれば色んな姿が見られます! 集団ゲームだけで無く、プール遊びでは毎回私自身もビショビショになって遊んだり、泥んこ遊びでは泥んこの園庭に子どもと一緒に寝転んで泥だらけになったり、腕や顔に泥を付け合いっこをしたり…保育者も一緒に全力で子ども達と遊ぶ事で苦手意識がある子もそうで無い子も、みんなとびっきりの笑顔で遊んでいるので 改めて幼稚園の先生をしていて“子ども達と全力で楽しむ”ということは大切!!日々子ども達から学ぶことはたくさんあるので、子どもも先生も一緒に成長できるし、毎日が面白いですよ(*^_^*)



みなさん、お久しぶりです!元楽習サポートのびのび担当者 T です!さてさて二回目の記事ですが、今回は学校に行けなかった当時から考えていることを書き留めてみようかと思っています。よく聞かれることでもあるのですが、「なんで学校に行けなくなったのか?」ということです。

僕の場合は、はっきりとこれが理由という理由はありませんでしたし、いまでもわからないというのが正直なところ。2018年に日本財団が行った調査、「不登校傾向にある子どもの実態調査」では、複数選択ではあ

りますが 44%の子どもが中学校に行きたくない理由として「自分でもよくわからない」を選択しており、同じような感覚の子が多いんだと感じたことを覚えていました。



はっきりとした一つの理由はないのですが、小さな学校に行きたくない理由はいくつかありました。はじめは小さなきっかけからで、自分の場合は部活をやめたことから学校に行きにくくなり、1週間休むうちにクラスメイトと会いにくくなり、学校に行かない生活にも慣れ、勉強の不安や友人関係の不安など小さな不安一つ一つが重なり合っていけなくなっていったように感じています。これが「自分でもよくわからない」の理由なのかなと思っています。みなさんの不登校の原因のイメージはどうでしたか？興味があれば日本財団の調査も見てみてください！



保育園を親が利用する一番多い理由は「働くため」です。

「働く親」を、今回はフルタイムとしましょう。
学校の授業であれば、5分前に教室に入って、終わり1分後には退室できるでしょう。
仕事はそうはいきませんよね。
前後30分、特に退勤時間が押すことはよくあります。
保育園を利用して働くためには、業務の前後と、通勤と、保育園の送迎時間を考慮して。
仕事の前後に1時間プラス…拘束9時間+2時間=11時間必要！としましょう。

認可保育園のほとんどの開園時間は7:00~19:00の12時間。

「保育士」は、この時間を埋められるように配置されます。限られた職員、フルタイムであればその8時間をうまく組み合わせて「保育園特有の運営基準」と「一般的な労働基準」をクリアできるよう絶妙な配置がされています。

はい、何が言いたいのか…

「働くための11時間」に対して、「12時間の開園時間」

- 一企業で働き、時間を守ってほしい保育士と
- 一企業で働き、時間ギリギリで行き来する親

ああ、世の中優しくないなあ。

(細かいところはおいておいて)



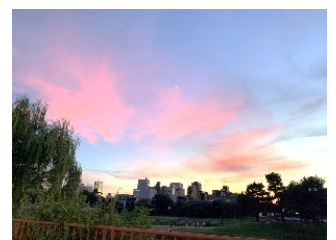
働く親と保育士を配置する園長、両方を知って、両方に挟まれて、こぼれた言葉でした。(谷崎)



こんにちは、ぴーちゃんです。暑い夏でしたね。夏が終わり、新学期の季節。夏休み後の二期は学校に行きたくない、行きづらいとなり、不登校になる子もいるのではないのでしょうか。

保護者の方からすると、子どもには学校に行っていきたいと願う方も少なくないと思います。ただ、今行かなくなるとこのままズルズル……と思い、無理矢理学校に連れていくことは、子どもにとって逆効果になることが多いです。

不登校になる理由は様々あり、色々な要素が複雑に絡み合っていたり、また、本人もなぜか分からないこともあるようです。不登校の時期は葛藤の最中であったり、学校に行くためのエネルギーを充電する時期でもあります。まずは子どもの気持ちを受け止めてあげることが一番大切ではないかと私は思います。



もし、どう対応したらいいかわからない、本人も困っている場合は学校や専門家などに頼ることも大切です。焦らず、抱え込まない。時には誰かに頼ったり、何ならたまには一緒にのんびりすることも良いのではないのでしょうか。

